

## 朝の補習で音読・暗唱。大量の英文をインプットして、アウトプットの土台を作ります

本校では週2回、朝7時50分からの40分間、補習授業を実施しています。その教材に『5 STEP アクティブ・リーディング』を高1で使用しています。40分間でできることは限られているので、STEP1～3については予習として課し、授業ではSTEP4の音読部分をメインに行います。最初の10分間で単語の確認、英文の構造や内容のポイントとなる部分の解説をし、残りの30分間はひたすら音読をします。理解をしてから音読することで英文が頭に残りやすく、全文暗唱まで持っていくことが可能になります。

音読はテキストに示されている手順を参考にしています。しかし20回の音読は時間内では無理なので、サイト・トランスレーション、センテンス音読、リズム・イミテーション、「日・英」トランスレーションを主に行います。その結果、生徒は合計10数回英文を読むこととなります。最終的には、日本語の訳を見ながら、英文を言えるようになるまで練習します。ペアワークを多用することが刺激となっているようで、生徒は熱心に音読、暗唱に取り組んでいます。この教材についてのアンケートを実施したところ、多くの生徒が「良かった」と答えており、「いろいろな内容の英文が読めて面白かった」「音読がたくさんできて良かった」といった意見がありました。2年次前半の補習授業でも続け、さらに多くの英文をインプットし、アウトプットの土台を作っていきたいです。

### ① 採用した理由

5段階の指導手順と  
英文素材がインプットに  
最適と考えたため



### ① テスト実施方法

長期休業後の実力テストの  
リスニング問題として出題。

音声を聞いて英文を書き取るテスト方式。

